

令和六年度

京都市生存圏研究所 公開講座

見えないモノを見てやろう！
未来の社会が見えてくる？

参加費
無料

対象：高校生以上

令和6年11月15日(金)

17:30~18:30

大気を見て、環境を診る

高橋 けんし (生存圏研究所 教授)



コロナ禍で利用が拡大した、飲食店などで見かける二酸化炭素センサー。どうしたら、目には見えないガスの濃度を数値化できるのでしょうか？温室効果ガスを「見る」ことで、地球環境を「診る」研究をご紹介します。

令和6年12月13日(金)

17:30~18:30

植物がつくるリグニンの見えない力
新素材の可能性を探る

西村 裕志 (生存圏研究所 特定准教授)



樹木をはじめとした植物はリグニンという木材を形作り守る物質を作っています。天然のバリアであるリグニンの魅力と持続可能な循環型社会におけるリグニン新素材の可能性についてお話しします。

令和7年1月10日(金)

17:30~18:30

木造住宅の耐震性が見える化！
～地震に負けない木の家～

中川 貴文 (生存圏研究所 准教授)



2024年能登半島地震では多くの木造住宅が倒壊しました。木造住宅に住まわれている方は、ご自宅の耐震性能にご興味があると思います。耐震性能は地震が起きてみないとわからない普段感じられない性能です。そんな耐震性能を誰でも簡単に見ることが出来る技術が急速に普及しています。最先端の可視化技術を紹介しします。

令和7年2月14日(金)

17:30~18:30

不可視の水中物体を探る
-小さい泡の計測と利用-

上田 義勝 (生存圏研究所 助教)



透明な水であっても、気体が溶けていることもありますし、小さな泡として気体が存在する場合があります。本講演では、目に見えないほどの小さな泡が水中に存在する時の計測方法について紹介しその特殊な性質と最新の利用方法について詳しく紹介しします。

聴講希望の方は、下記のGoogleフォームから
ご登録ください。

<https://forms.gle/ExjQf3EdGB2A6BTd7>

本公開講座のウェブサイト (QRコード) :

https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/rish_koukaikouza_r6/

オンライン開催
事前申込制



第一回

第二回

第三回

第四回